

はじめに（言い訳）

保母をしていて身体が不調になって、原因も、回復方法もわからず、困っていたときに鍼灸に出会い、施術を受けることで回復しました。

鍼灸施術、とてもいいものだと思います、受けていた施術と同じように、自分も鍼一本（ささない鍔鍼）と“お灸”で施術をして、困っている人がいたら、回復する喜びを味わってもらいたいと思って仕事として始めました。

PCが始めてきていましたが、鍼と灸にしか興味はなく、まったく興味は持ちませんでした。ところが、子どもの保育園のときの母友がPCをすすめてくれました。

しかもPCの得意な人（山田さんありがとうございます）に「ホームページを作ってあげて！ 24時間営業してくれるのよ」と言ってくれ、そこからPCを買い、検索を上げるために（なんのこっちゃい？）毎日書いたほうが良いと、ブログをすすめられました。

その、たらたら営業のためと思い書いていたブログを読んでもくれた方がいて！ なんとということ、「本

を書きませんか？」という提案をいただきました。

年を重ね、身体がより動くようになり、あの身体が重く、しんどく動いていたところはいつたいたいなんだつたんだろう？ とさえ思う今日このごろ。

なぜそんなふうになれたんだろうか？ ということを、書いてみることもいいのかなあ〜とは思えませんでした。

18歳まで長野にいたころも本を読むことは日常的にありましたが、ほとんどは図書館で借りてという感じでした。

短大入学で東京に来てからは、本屋にもよく行くようになり、仕事を始めてからは、お金もあり、本から学ぶことも本場に多くありました。

でも本を読みながら、「本を書けるなんて！ 私には考えられない能力！」と書いていましたし、いつか書いたものを投稿誌に送ってみたら「こんなひどいものは見たことがない！」とまで言われていたの、書くことにはまったく自信もなく「えっ、私に書ける？ あのブログ（ひどいかもしれないけど、営業と思って書いていた）からなぜにその提案か？」とびつくりです。

本にしませんか？　ということ、考え始めました。

最初に詐欺なんじゃないかと思ひ、私の知り合いの中で一番本の中に詳しい方（岩田ご夫婦いつもありがとうございます）にまず相談をしました、実在する会社であることなどがわかりました。

さらに私の文章を書く能力をブログを読んでわかっていてくれて提案してきてくれるのですから、上手に書けることか、能力を求めているわけでもない！　とは思いました。

今までも、PTAの役員とか区議会議員の選挙（落ちましたが）をやったことがありました。

そういうことを率先してやるタイプでないと思うのですが、特別嫌ではないことと、なんだか皆さんが忙しい中、私だけ暇なので、引き受けてしまうのですが、やってみたら、楽しかったうえに、学んだことばかりで、やってよかつたな〜と思うことが多かつたのです。

連れ合いが、自由にふるまいたい人なので、私にも好きにさせてくれる！　これは実は大きいことかもしれません。

せつかく身体の不調ということに出会い、いろいろな体験をし、いのちの輝き、人の身体のすごさ、鍼灸の持つ力と便利さを実感したことを書くことも、よいかもしれないと思ひました。

書いてみて、読んでいただいて、そうそうと思ひていただいたり、私はこうじゃないわ〜〜などと思ひていただいたり、そして自分とのさらなる出会い！　それもまたいいんじゃないかと思ひ、書くこ

とを決めました。

2021年10月13日